

2026年3月19日

## 大王製紙と北越コーポレーションの戦略的業務提携の深化について

大王海運株式会社  
代表取締役社長  
岩井 正実

大王海運株式会社および美須賀海運株式会社（以下、総称して「当社」といいます）は、大王製紙株式会社および北越コーポレーション株式会社の大株主として、両社の持続的成長と企業価値向上を期待し、その経営を見守ってまいりました。

今般、両社より、資本関係を対等な相互保有としたうえで事業連携をさらに深化させ、将来的には相互保有株式の比率を縮減していく方針について説明を受けました。

今回の資本関係の再構築は、両社の企業価値向上に資する最適な判断であると考え、当社としてもこれに賛同し、その実現に協力することといたしました。

具体的には、当社が保有する北越コーポレーション株式について、同社による自己株式取得への応募および大王製紙への譲渡に協力いたします。詳細につきましては、両社の公表内容のとおりです。

あわせて、その対価として、大王製紙が保有する川崎事業所の倉庫不動産およびチリの植林会社アンチレ社の持分について、当社が譲り受けることといたしました。

川崎事業所の倉庫不動産は、首都圏における製紙原料の重要な物流拠点であり、当社グループの物流機能との親和性が高い資産です。当社が担う製紙原料の物流機能を一層強化し、製紙業の発展に貢献してまいります。

また、アンチレ社の持分取得は、当社にとって森林経営への新たな取り組みを意

味します。海上輸送を本業とする当社にとって、森林経営は環境問題や気候変動リスクへの対応という観点からも重要な社会的意義を有するものです。加えて、同社は大王製紙の主要な原料調達先であり、当社は製紙原料のサプライヤーとしても、製紙業の持続的発展に貢献してまいります。

今般の一連の取引を通じて、大王製紙および北越コーポレーションが、より適切な資本関係のもとで戦略的業務提携を深化させることを期待しております。

当社は、北越コーポレーションの大株主としての立場からは離れることとなりますが、首都圏における物流機能の強化および森林経営を通じた原料供給という新たな役割を担うことで、大王製紙との関係を一層強固なものとし、製紙業界の発展に貢献してまいります。

以上